

経緯・目的

- アジアと欧州の対話の場として、**1996年**に発足。
- 冷戦後の国際社会の中で、ダイナミックな変容と発展を遂げる**アジアと欧州との関係の強化**。
- アジア・欧州関係だけでなく、**グローバルな課題**(例:気候変動、テロ)も視野に入れて活動する対話と協力の場。

参加国

- アジアと欧州の合計**51か国**と**2機関**
 - アジア側**21か国**と**1機関** :日、中、韓、ASEAN諸国(10か国)、印、パキスタン、モンゴル、露、豪、NZ、バンラデシュ、カザフスタン及びASEAN事務局
 - 欧州側**30か国**と**1機関** :EU加盟国及び欧州対外活動庁(EEAS)、ノルウェー、スイス

特徴

- **政治、経済、社会・文化等の3つの柱**を中心に、幅広い分野で活動している。
- **首脳会合**(2年に1回開催)を頂点とし、**外相会合**(2年に1回首脳会合がない年に開催)及びその他いくつかの閣僚会合が不定期に開催されている。

直近の会合

- **第12回外相会合(日時:2015年11月5-6日、於:ルクセンブルク、出席者:岸田大臣)**
【主要議題】
 - ・ 気候変動、持続可能な開発のための2030アジェンダ、防災/災害リスク管理
 - ・ 連結性
 - ・ 国際及び地域問題
- **第11回首脳会合(日時:2016年7月15-16日、於:ウランバートル、出席者:安倍総理)**
【主要議題】
 - ・ 20年のパートナーシップ:これまでの総括とASEMの将来
 - ・ ASEMの3つの柱の強化その他、「ウランバートル宣言」、「ASEM首脳による国際テロリズムに関する声明」等
- **第13回外相会合(日時:2017年11月20-21日、於:ミャンマー・ネーピードー(詳細未定))**

上記のほか2016年12月2日、韓国・ソウルで「投資と貿易に関する高級実務者会合(SOMTI)」が開催され、2017年9月に14年ぶりにソウルでASEM経済閣僚会合(EMM)が再開予定。

第一回 女性の経済的エンパワーメントに関する会合 「仕事の世界で平等な機会を創出する」 2017年5月25,26日(ビリュヌス・リトアニア)

大崎作成
資料

参加国

- 10カ国による共催(日本、リトアニア、インド、クロアチア、中国、ルーマニア、フィリピン、スウェーデン、ベトナム)
- 国際機関も参加(UN Women, World Bank, OECD, CEDAW, ILO等)

内容

- 閣僚級によるオープニング・スピーチでの各国の取り組みの報告
- 参加国・国際機関からの専門家・実務家によるパネルディスカッション
- 日本からは滝沢求外務大臣政務官が出席
- パネルディスカッション「女性の経済的エンパワーメントを促進する法的環境、機構メカニズム、効果的な履行」
「ジェンダー平等の経済的利益」「女性のリーダーシップとジェンダーバランスの取れた意思決定」「ジェンダー課題:教育、STEMと労働市場における性別分業」「女性の起業」「家族に優しい政策:雇用におけるジェンダー平等の推進とジェンダー・バイアスの解消

成果文書

- 第61回CSW、北京行動綱領、持続可能な開発目標(SDGs)へのコミットメントを確認
- ASEM参加国政府が女性の経済的権利とエンパワーメントを促進する政治的意思と、各国が実行している多様なメカニズムや事例を共有していくことを確認
- 成果を外相会合にもインプットする
- ◇ 「女性」に関する対話を続けることとし、2年後に第二回会合をインドで開催する
- ◇ 女性の経済的エンパワーメント、暴力の無い環境、ジェンダー平等、男性と女性のワークライフバランスの拡充に関する機構メカニズム、ストラテジー、ガイドライン、履行のための方策について意見交換をし、優良事例や教訓を共有することで、アジア・欧州諸国の人々に資する具体的成果を生み出すことを目指す
- ◇ 国際機関による経済的コストや利益の分析を踏まえた取り組みについて検討する
- ◇ 労働市場で女性が直面している障壁、ジェンダー平等の社会的・経済的重要性、女性に対する暴力とジェンダー不平等の経済的・人的コスト、男女間の賃金格差等について、ASEM参加国のステークホルダー、メディア、一般市民への意識啓発を行う